

平成三十一年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」「と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) 弱点を克服した。
- (2) これまでのやり方を踏襲する。
- (3) 専ら聞き役に徹する。
- (4) 船が水面を滑らかに進む。

問二 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) 時計のたんしんが文字盤の10を指す。
- (2) 百分の一のしゆくしゃくで模型を作る。
- (3) 新しい国語辞典を弟にかした。
- (4) 強敵にいさましく立ち向かう。

問三 次は、中学生の西島さんが、図書館の職員にインタビューを行うため、館長の春田さんに電話で依頼したときの会話の一部です。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(春田さん) はい、私が春田です。

(西島さん) はじめまして。お忙しいところすみません。私は、〇〇中学校の西島と申します。今、少しだけお時間を¹もらえますか。

(春田さん) ええ、大丈夫ですよ。どのようなご用件ですか。

(西島さん) ありがとうございます。実は、学校の授業で、仕事について調べることに
なり、私は図書館の仕事を調べたいと考えています。そこで、館長さんや
職員の皆さんに、放課後、直接インタビューしたいと思っています。

(春田さん) 分かりました。希望の日はありますか。

(西島さん) ²急ではありますが、。

(春田さん) いいですよ。では、午後四時に来てください。

- (1) ——線1「もらえますか」を、謙譲語を使って敬意を高める表現に書きかえなさい。
- (2) ——線2が、翌日に訪問する許可を求める文となるように、に当てはまる表現を、十字以上、二十字以内で書きなさい。

問四 次の文は、一生懸命なのが「私たち」の場合と、「選手」の場合の、二つの異なる解釈ができます。一生懸命なのが「選手」だけであると解釈できる文とするために、読点を一か所打つとき、どの文節の後に打つのが最も適当ですか、その文節を書きなさい。

私たちは一生懸命にボールを追う選手に声援を送った。

問五 次の文章を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(稲垣栄洋「雑草はなぜそこに生えているのか」による)

(1) — 線1「子孫たちも……良いのではないだろうか」とありますが、「その場所」とはどのような場所ですか。解答欄に示した表現につながるように、文中から十五字で書き抜きなさい。

(2) — 線2「常に挑戦し続けなければいけない」とありますが、「挑戦」が表している内容を次のようにまとめるとき、①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から五字以上、七字以内で書き抜きなさい。

植物が、新たな場所を求めて ① させることで、② とす
ること。

二 次の問いに答えなさい。

問一 (1)、(2)の文は、——線部と~~~~線部との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えな
いように、~~~~線部を適切に書き直しなさい。

(1) 私の夢は、多くの人を感動させられるようなピアニストになりたい。

(2) たとえ遠く離れた土地で暮らしたなら、故郷のことは決して忘れない。

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢
字を書きなさい。

(1) 国際連合では、二〇五五年には世界人口が百億人を突破すると予測している。

(2) 町内会の総会で審議された予算案が、反対多数で非決された。

問三 次の文章は、X町に住む中学生の本田さんが、校内放送で町の魅力を話した内容の一部で
す。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

- ① X町は、小さい町ですが、若者で活気のあるところが魅力だと思います。
- ② 私は、小学生のときから毎年、秋の収穫祭や、仮装フェスティバルなどに参加して
いるのですが、最近は、これらの行事に同じ学校の生徒や近所の先輩など、若者がた
くさん参加するようになり、活気が増してきたと思います。さらに、私の周りには、
大人になってもずっとX町に住みたいと言っている友人も多くいて、若者が減ってい
く心配はないと思います。
- ③ X町には、他にも魅力がたくさんあるはずです。皆さんも、X町の新たな魅力を探
してみませんか。

(1) 本田さんが話した内容について説明したものととして最も適当なものを、ア～エから選
びなさい。

ア 自分の考えを正確に伝えるため、聞き手に繰り返し呼びかけている。

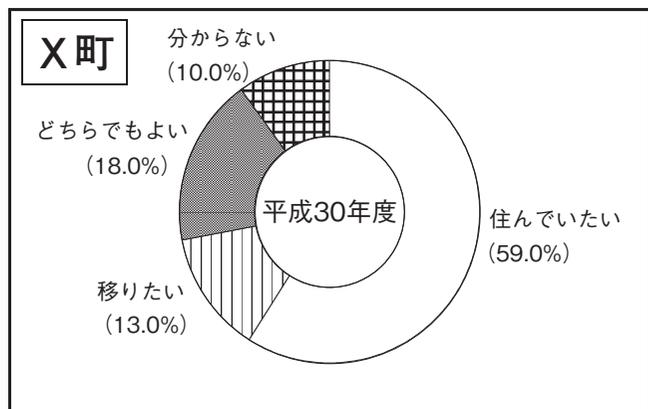
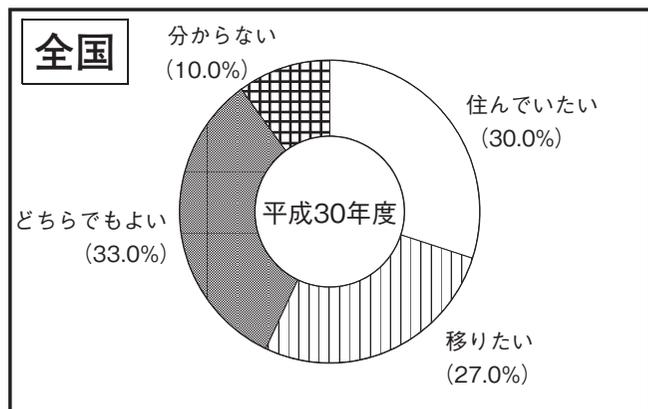
イ 自分の意見を述べた上で、対立する意見も取り上げている。

ウ 自分の意見を述べるだけでなく、そのように考えた理由を示している。

エ 自分の感想を述べないようにして、客観的な内容にしている。

【国の調査】

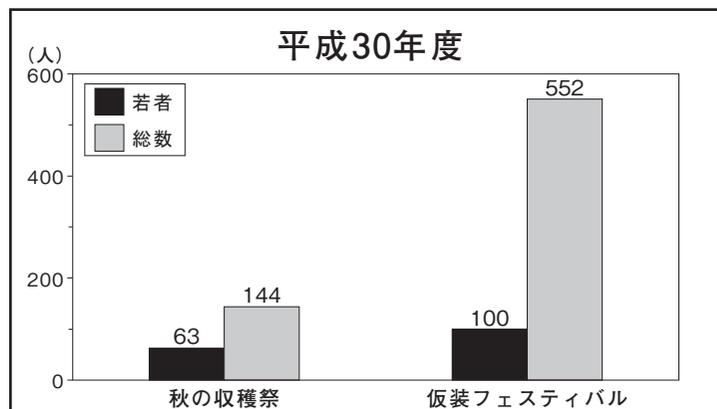
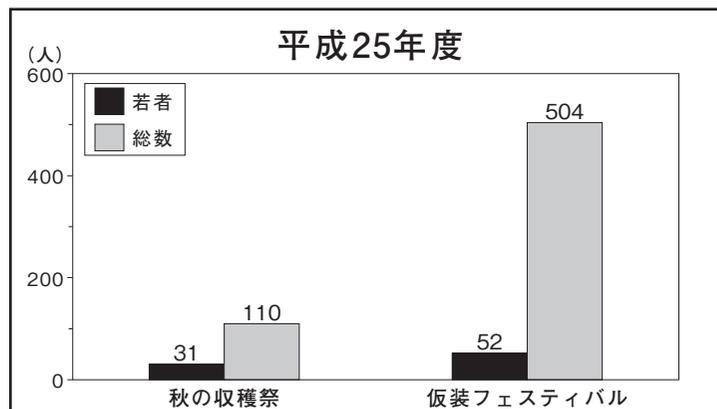
あなたは将来も今の地域（市町村）に住んでいたいと思いますか。



・この調査は、全国の13歳から29歳の若者を対象に行ったものである。

【X町の調査】

あなたが今年度参加した、X町の行事は何ですか。



・この調査は、X町の町民を対象に行ったものである。
 ・この調査では、13歳から29歳を「若者」としている。

(2) ②の段落を、あなたが次の調査結果をもとに話すとき、条件1、2にしたがって話す内容を書きなさい。

条件1 X町の調査及び国の調査から読み取ったことを、それぞれ書くこと。

条件2 条件1で書いた二つのことを踏まえて、X町の今後について考えられることを書くこと。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(関口尚「サニー・シックスティーン・ルール」による)

問一 — 線1「読み終えた……微笑んだ」とありますが、「ぼく」は、美駒ちゃんの微笑みが、「ぼく」にどのような気持ちをもたらしてくれたととらえていますか。文中から三つ、それぞれ三字以内で書き抜きなさい。

問二 — 線2「のんびり歩いてなんかいられない気分だった」とありますが、「ぼく」がこのような気分になったのは、美駒ちゃんに対するどのような思いによって、このとき何をしなくなったからですか、三十五字程度で書きなさい。

問三 — 線3「今日開いたような新たな扉」とありますが、「ぼく」がこの日、新たな扉を開いたと感じたのは、美駒ちゃんとのやりとりを通して、どのようなことが分かり、どのように思えたからですか、四十字程度で書きなさい。

問四 次は、この文章における表現上の工夫の一つをまとめたものです。①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は七字、②は八字とします。

「ぼく」が ① ときに感じていた ② が、春の季節感を表すただけでなく、「ぼく」の心情の変化のきっかけとしても用いられている。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

岸玄知は、雲州侯の茶道なり。和歌を好めるの癖あり。或日、郊外へ出でて、梅圃の花盛りにて、梅樹の主を問ひて、樹を買はんとす。敢へて肯ぜざるを、高価を以て強ひて望みければ、已む事なく約す。翌日、酒魚を以て樹下に来たり慰む。農夫曰く、根の損せざるやうに掘りうがち、明日持ちまゐるべしと云ふ。玄知の云ふ、いな左様に非ず。いつまでも爰に置くべし。さあらば実、熟さは如何にすべしと問ふ。実は用なし、只花のみ望む所にして、吾物にして見ざればおもしろからずとぞ。

(司馬江漢「春波樓筆記」による)

(注) 雲州侯の茶道——出雲の国(現在の島根県東部)の領主に仕え、茶会を取り仕切る者。好めるの癖あり——こよなく愛している。梅圃——梅の木を植えている畑。敢へて肯ぜざる——どうしても了承しない。慰む——楽しむ。

問一——線「約す」について、ここでの意味と同じ意味で使われている「約」を含む熟語を、ア～エから選びなさい。

ア 要約 イ 婚約 ウ 儉約 エ 集約

問二——線ア～オのうち、岸玄知の動作を表しているものを、二つ選びなさい。

問三 この文章の内容に合うものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア 農夫は、梅の木が他の人の手に渡ると、梅の実の収穫量が少なくなるので、梅の木の値段を高くして、その木を買うことを岸玄知にあきらめさせようとした。

イ 農夫は、梅の木を買った岸玄知の目的は、梅の実を手に入れることだと思っていたが、玄知は、和歌の題材となる梅の花を持ち帰りたいと思っていた。

ウ 農夫は、岸玄知が梅の畑に来たのは、食事をしながら梅の花を見るためだと思っていたが、玄知は梅の花には興味がなく梅の実が欲しいと考えていた。

エ 農夫は、梅の木を買った岸玄知のためにその木を掘って届けようとしたが、玄知は、今の場所で、ただ梅の花を自分のものとして眺めたいと考えていた。

平成三十一年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一** から **四** まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 学校裁量問題は、**三** です。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 4 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 5 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)、(2)の文は、——線部と~~~~線部との言葉の関係が不適切です。この文の内容を変えな
いように、~~~~線部を適切に書き直しなさい。

(1) 私の夢は、多くの人を感動させられるようなピアニストになりたい。

(2) たとえ遠く離れた土地で暮らしたなら、故郷のことは決して忘れない。

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢
字を書きなさい。

(1) 国際連合では、二〇五五年には世界人口が百億人を突破すると予測している。

(2) 町内会の総会で審議された予算案が、反対多数で非決された。

問三 次の文章は、X町に住む中学生の本田さんが、校内放送で町の魅力を話した内容の一部で
す。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

- ① X町は、小さい町ですが、若者で活気のあるところが魅力だと思います。
- ② 私は、小学生のときから毎年、秋の収穫祭や、仮装フェスティバルなどに参加して
いるのですが、最近は、これらの行事に同じ学校の生徒や近所の先輩など、若者がた
くさん参加するようになり、活気が増してきたと思います。さらに、私の周りには、
大人になってもずっとX町に住みたいと言っている友人も多くいて、若者が減ってい
く心配はないと思います。
- ③ X町には、他にも魅力がたくさんあるはずです。皆さんも、X町の新たな魅力を探
してみませんか。

(1) 本田さんが話した内容について説明したものととして最も適当なものを、ア～エから選
びなさい。

ア 自分の考えを正確に伝えるため、聞き手に繰り返し呼びかけている。

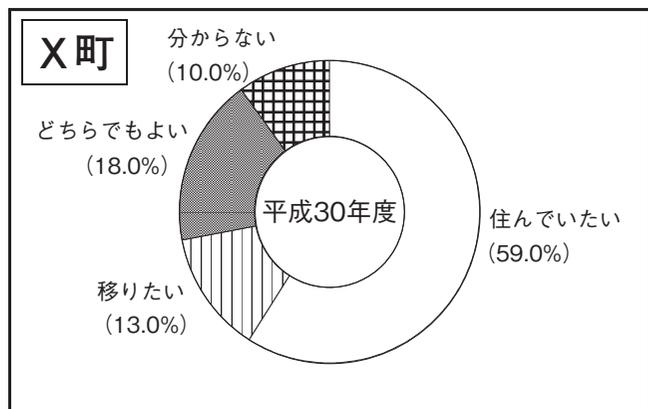
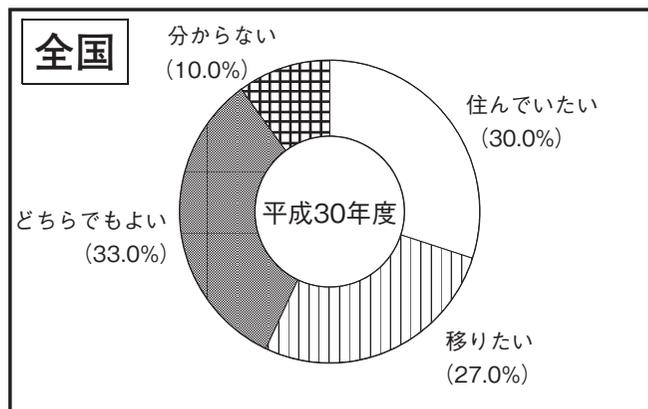
イ 自分の意見を述べた上で、対立する意見も取り上げている。

ウ 自分の意見を述べるだけでなく、そのように考えた理由を示している。

エ 自分の感想を述べないようにして、客観的な内容にしている。

【国の調査】

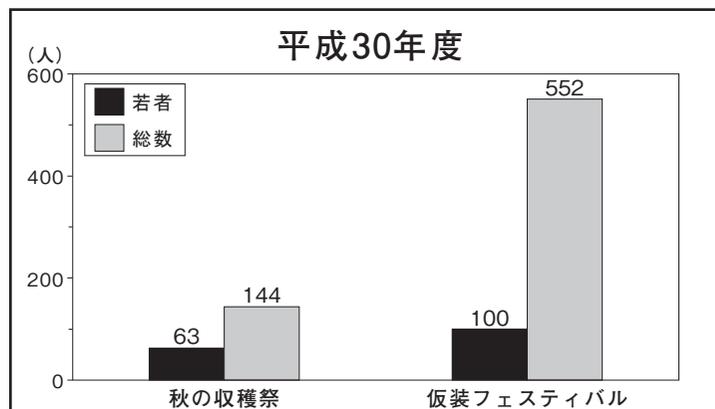
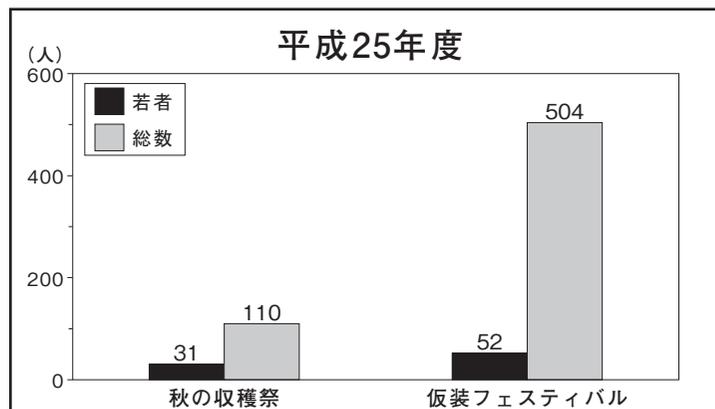
あなたは将来も今の地域（市町村）に住んでいたいと思いますか。



・この調査は、全国の13歳から29歳の若者を対象に行ったものである。

【X町の調査】

あなたが今年度参加した、X町の行事は何ですか。



・この調査は、X町の町民を対象に行ったものである。
 ・この調査では、13歳から29歳を「若者」としている。

(2) ②の段落を、あなたが次の調査結果をもとに話すとき、条件1、2にしたがって話す内容を書きなさい。

条件1 X町の調査及び国の調査から読み取ったことを、それぞれ書くこと。

条件2 条件1で書いた二つのことを踏まえて、X町の今後について考えられることを書くこと。

二

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(関口尚「サニー・シックスティーン・ルール」による)

問一 — 線1「読み終えた……微笑んだ」とありますが、「ぼく」は、美駒ちゃんの微笑みが、「ぼく」にどのような気持ちをもたらしてくれたととらえていますか。文中から三つ、それぞれ三字以内で書き抜きなさい。

問二 — 線2「のんびり歩いてなんかいられない気分だった」とありますが、「ぼく」がこのような気分になったのは、美駒ちゃんに対するどのような思いによって、このとき何をしなくなったからですか、三十五字程度で書きなさい。

問三 — 線3「今日開いたような新たな扉」とありますが、「ぼく」がこの日、新たな扉を開いたと感じたのは、美駒ちゃんとのやりとりを通して、どのようなことが分かり、どのように思えたからですか、四十字程度で書きなさい。

問四 次は、この文章における表現上の工夫の一つをまとめたものです。①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、①は七字、②は八字とします。

「ぼく」が ① ときに感じていた ② が、春の季節感を表すただけでなく、「ぼく」の心情の変化のきっかけとしても用いられている。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

Blank area for writing the answer.

(高階秀爾「日本人にとって美しさとは何か」による)

問一 〓線1の読みを書きなさい。また、〓線2、3を漢字で書きなさい。

問二 〓線1「西欧の名所絵葉書」、〓線2「日本の観光絵葉書」とありますが、西欧と日本では、建造物を絵葉書の中で、それぞれどのように扱っていると筆者は述べていますか。解答欄に示した表現に続けて、五十五字程度で書きなさい。

問三 〓線「名所についての日本人の考え方」とありますが、日本の名所とはどのようなところであるかを、次のようにまとめるとき、①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から書き抜きなさい。ただし、いずれも十五字以上、二十字以内とします。

西欧では、①
するような堅牢な石の建造物が名所となっ
ているが、日本の名所は、自然景と一体で、②
である。

問四 筆者はこの文章で、「自然」は日本人にとって、どのような役割をもってきたと述べていますか、二つ書きなさい。ただし、それぞれ十五字程度で書くこと。

問五 この文章の段落と段落の関係について説明した文として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア [2]の段落では、[1]の段落の内容の裏付けとして、筆者の伝聞したことが述べられている。
イ [3]の段落では、[2]の段落で取り上げた具体例に続けて、筆者の考えが展開されている。
ウ [5]の段落では、[4]の段落で述べた考え方を否定した上で、筆者の主張が整理されている。
エ [7]の段落では、[6]の段落のまとめとは違う視点で、筆者の新たな疑問が述べられている。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

岸玄知は、雲州侯の茶道なり。和歌を好めるの癖あり。或日、郊外へ出でて、梅圃の花盛りにて、梅樹の主を問ひて、樹を買はんとす。敢へて肯ぜざるを、高価を以て強ひて望みければ、已む事なく約す。翌日、酒魚を以て樹下に来たり慰む。農夫曰く、根の損せざるやうに掘りうがち、明日持ちまゐるべしと云ふ。玄知の云ふ、いな左様に非ず。いつまでも爰に置くべし。さあらば実、熟さは如何にすべしと問ふ。実は用なし、只花のみ望む所にして、吾物にして見ざればおもしろからずとぞ。

(司馬江漢「春波樓筆記」による)

(注) 雲州侯の茶道——出雲の国(現在の島根県東部)の領主に仕え、茶会を取り仕切る者。好めるの癖あり——こよなく愛している。梅圃——梅の木を植えている畑。敢へて肯ぜざる——どうしても了承しない。慰む——楽しむ。

問一 ——線「約す」について、ここでの意味と同じ意味で使われている「約」を含む熟語を、ア～エから選びなさい。

ア 要約 イ 婚約 ウ 儉約 エ 集約

問二 ~~~線ア～オのうち、岸玄知の動作を表しているものを、二つ選びなさい。

問三 この文章の内容に合うものを、ア～エから一つ選びなさい。

ア 農夫は、梅の木が他の人の手に渡ると、梅の実の収穫量が少なくなるので、梅の木の値段を高くして、その木を買うことを岸玄知にあきらめさせようとした。

イ 農夫は、梅の木を買った岸玄知の目的は、梅の実を手に入れることだと思っていたが、玄知は、和歌の題材となる梅の花を持ち帰りたいと思っていた。

ウ 農夫は、岸玄知が梅の畑に来たのは、食事をしながら梅の花を見るためだと思っていたが、玄知は梅の花には興味がなく梅の実が欲しいと考えていた。

エ 農夫は、梅の木を買った岸玄知のためにその木を掘って届けようとしたが、玄知は、今の場所で、ただ梅の花を自分のものとして眺めたいと考えていた。